

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成24年11月14日

【四半期会計期間】 第75期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

【会社名】 日東ベスト株式会社

【英訳名】 NittoBest Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 内田 淳

【本店の所在の場所】 山形県寒河江市幸町4番27号

【電話番号】 0237(86)2100(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 渡辺 豊

【最寄りの連絡場所】 山形県寒河江市幸町4番27号

【電話番号】 0237(86)2100(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 渡辺 豊

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第74期 第2四半期 連結累計期間		第75期 第2四半期 連結累計期間		第74期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(千円)		23,404,737		23,486,212		47,245,078
経常利益	(千円)		117,471		173,271		541,617
四半期(当期)純利益	(千円)		51,223		103,716		221,494
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		47,285		58,499		232,979
純資産額	(千円)		10,408,970		10,507,828		10,594,570
総資産額	(千円)		30,434,908		32,160,798		31,733,823
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)		4.23		8.57		18.31
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		34.2		32.7		33.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		493,915		230,912		2,293,666
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		477,681		320,642		928,832
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		544,424		38,337		671,307
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		1,403,874		2,573,867		2,625,942

回次		第74期 第2四半期 連結会計期間		第75期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失 金額()	(円)		2.87		1.72

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景として緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務問題を背景とした金融市場不安や海外経済の減速等、依然として先行き不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、景気回復の遅れに伴う消費低迷により依然として低価格志向が継続しており、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような環境のなかで、当社グループにおきましては、震災の影響を受けていた水産品を中心とする商品群の回復や、原材料の安定的な確保、生産効率の改善に努めるとともに、お客様のニーズを捉えた商品開発、お客様への迅速な対応に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、234億8千6百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

利益面に関しましては、製造経費の削減や材料価格が比較的安定して推移したこと等により、営業利益は1億1千6百万円(前年同期比48.4%増)、経常利益は1億7千3百万円(前年同期比47.5%増)、四半期純利益は1億3百万円(前年同期比102.5%増)となりました。

事業部門の区分別の売上高は、次のとおりであります。なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、部門別により記載しております。

冷凍食品部門につきましては、183億7千9百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

日配食品部門につきましては、34億4千4百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

缶詰部門等につきましては、16億6千1百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

資産につきましては、主に原材料が増加したこと等により、当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ4億2千6百万円増加し、321億6千万円となりました。

負債につきましては、主に支払手形及び買掛金並びに借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億1千3百万円増加し、216億5千2百万円となりました。

純資産につきましては、主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ8千6百万円減少し、105億7百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間末に比べ11億6千9百万円増加し、25億7千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億3千万円となり、前年同期に比べ2億6千3百万円減少いたしました。これは主に、貸倒引当金及び仕入債務の増加額が減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億2千万円となり、前年同期に比べ1億5千7百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産の取得のための支出等の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、3千8百万円となり、前年同期に比べ5億8千2百万円増加いたしました。これは主に、長期借入れによる収入等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は4億2千2百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,102,660	12,102,660	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	12,102,660	12,102,660		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		12,102,660		1,474,633		1,707,937

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社ウチダ・コーポレート	山形県寒河江市栄町1-16	941	7.77
日東ベスト取引先持株会	山形県寒河江市幸町4-27	939	7.76
日東ベスト従業員持株会	山形県寒河江市幸町4-27	876	7.24
内田 淳	山形県寒河江市	869	7.18
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町1-13-2	605	4.99
株式会社山形銀行	山形県山形市七日町3-1-2	600	4.95
鈴木俊幸	山形県寒河江市	296	2.45
国分株式会社	東京都中央区日本橋1-1-1	293	2.42
東洋製罐株式会社	東京都品川区五反田2-18-1	276	2.28
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1-13-1	230	1.90
計		5,928	48.98

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,090,100	120,901	
単元未満株式	普通株式 8,560		
発行済株式総数	12,102,660		
総株主の議決権		120,901	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権20個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式76株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 日東ベスト株式会社	山形県寒河江市幸町4 - 27	4,000		4,000	0.03
計		4,000		4,000	0.03

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,440,756	2,388,677
受取手形及び売掛金	1 9,200,433	1 9,137,342
有価証券	190,186	190,190
商品及び製品	2,864,238	2,770,051
仕掛品	262,140	296,494
原材料及び貯蔵品	1,344,781	1,940,426
その他	573,008	631,856
貸倒引当金	102,684	112,212
流動資産合計	16,772,860	17,242,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,112,401	5,060,745
機械装置及び運搬具(純額)	3,865,062	3,848,133
その他(純額)	2,718,287	2,762,438
有形固定資産合計	11,695,751	11,671,317
無形固定資産	159,537	143,544
投資その他の資産		
その他	3,244,203	3,105,269
貸倒引当金	138,529	2,158
投資その他の資産合計	3,105,673	3,103,110
固定資産合計	14,960,962	14,917,972
資産合計	31,733,823	32,160,798
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 7,083,631	1 7,407,656
短期借入金	3,410,000	3,110,000
未払法人税等	96,978	72,808
賞与引当金	435,201	444,590
その他	4,460,008	4,605,342
流動負債合計	15,485,819	15,640,397
固定負債		
長期借入金	2,771,500	3,237,300
退職給付引当金	1,495,316	1,457,561
役員退職慰労引当金	238,618	246,278
その他	1,147,999	1,071,432
固定負債合計	5,653,433	6,012,572
負債合計	21,139,253	21,652,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,474,633	1,474,633
資本剰余金	1,707,937	1,707,937
利益剰余金	7,289,294	7,247,827
自己株式	3,759	3,815
株主資本合計	10,468,106	10,426,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126,463	81,246
その他の包括利益累計額合計	126,463	81,246
純資産合計	10,594,570	10,507,828
負債純資産合計	31,733,823	32,160,798

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	23,404,737	23,486,212
売上原価	19,105,612	19,144,910
売上総利益	4,299,124	4,341,302
販売費及び一般管理費	1 4,220,792	1 4,225,055
営業利益	78,331	116,247
営業外収益		
受取利息	604	714
受取配当金	12,536	11,616
持分法による投資利益	61,397	63,355
その他	17,536	31,694
営業外収益合計	92,075	107,380
営業外費用		
支払利息	52,086	48,322
その他	848	2,034
営業外費用合計	52,935	50,356
経常利益	117,471	173,271
特別利益		
固定資産売却益	771	5,757
特別利益合計	771	5,757
特別損失		
固定資産売却損	-	811
固定資産除却損	29,133	10,878
投資有価証券売却損	-	610
特別損失合計	29,133	12,300
税金等調整前四半期純利益	89,110	166,727
法人税、住民税及び事業税	34,146	65,326
法人税等調整額	3,739	2,315
法人税等合計	37,886	63,011
少数株主損益調整前四半期純利益	51,223	103,716
四半期純利益	51,223	103,716

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	51,223	103,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,726	45,852
持分法適用会社に対する持分相当額	788	635
その他の包括利益合計	3,937	45,217
四半期包括利益	47,285	58,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,285	58,499
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	89,110	166,727
減価償却費	661,828	613,154
貸倒引当金の増減額(は減少)	12,661	126,842
賞与引当金の増減額(は減少)	15,333	9,389
退職給付引当金の増減額(は減少)	21,165	37,754
受取利息及び受取配当金	13,141	12,330
支払利息	52,086	48,322
持分法による投資損益(は益)	56,235	55,934
固定資産除売却損益(は益)	28,361	5,933
売上債権の増減額(は増加)	56,251	63,090
たな卸資産の増減額(は増加)	563,834	535,811
仕入債務の増減額(は減少)	396,980	324,024
その他	13,554	107,857
小計	601,616	354,110
利息及び配当金の受取額	13,134	13,120
利息の支払額	48,629	47,467
法人税等の支払額	72,206	88,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	493,915	230,912
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	413,827	311,033
有形固定資産の売却による収入	955	6,419
ソフトウェアの取得による支出	6,513	6,169
投資有価証券の取得による支出	7,462	59,129
投資有価証券の売却による収入	-	49,390
その他	50,834	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	477,681	320,642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000	300,000
長期借入れによる収入	700,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	677,400	705,700
割賦債務の返済による支出	224,425	211,418
自己株式の取得による支出	52	56
配当金の支払額	142,546	144,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	544,424	38,337
現金及び現金同等物に係る換算差額	504	682
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	528,695	52,075
現金及び現金同等物の期首残高	1,932,569	2,625,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,403,874	2,573,867

【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、これに伴う損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしておりま
す。なお、当第2四半期連結会計期間の末日は金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間
末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)	
受取手形	276,809千円	受取手形	328,064千円
支払手形	849,749	支払手形	859,065

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
1 販売費及び一般管理費の主なもの		1 販売費及び一般管理費の主なもの	
運搬費	1,498,769千円	運搬費	1,468,535千円
賞与引当金繰入	143,768	賞与引当金繰入	144,622
退職給付費用	51,276	退職給付費用	44,555

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関 係		1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関 係	
現金及び預金	1,218,691千円	現金及び預金	2,388,677千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	5,000	預入期間が3か月を超える 定期預金	5,000
有価証券	190,182	有価証券	190,190
現金及び現金同等物	1,403,874	現金及び現金同等物	2,573,867

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	145,186	12.00	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	145,183	12.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループの事業は、食品の製造販売並びにこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4円23銭	8円57銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	51,223	103,716
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	51,223	103,716
普通株式の期中平均株式数(株)	12,098,776	12,098,628

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

日東ベスト株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齋藤 憲 芳	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	押野 正 徳	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高嶋 清 彦	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日東ベスト株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日東ベスト株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。